

薬剤師の

ちょっと楽に立つお話

YAKUNI
TATSU
OHANASHI
VOL.16

Vol.16

地域の皆さんのがんのためにはさまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。

毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

上田薬剤師会は、薬剤師の職能をさらに向上させるため、海外の先進的な薬局の取り組みや、薬剤事情を学んでいます。

今回はそれらのインターナショナルな活動についてお伝えします。

今月のTOPICS

海外薬局事情

スウェーデン・オーストリア薬局レポート

先日、スウェーデンのストックホルムとオーストリアのウィーンにある薬局を視察してきた薬剤師の八柳秀夫さんに、現地の様子をうかがいました。



in スウェーデン

Sweden

スウェーデンでは以前、国が薬局を管理していましたが、現在は国営と民営のものに分かれ、サービス競争しています。薬局の数は管理されていて、一人のオーナーが無制限に開局できない決まりがあるのが、日本とは異なるところです。

明るく清潔感あふれる薬局には、調剤だけでなく店頭で一般用医薬品(OTC)の販売に携わる「テクニシャン(調剤補助員)」が数名います。私も店内で実際に話しかけられました。



ロイズ薬局
(ストックホルム)

►ガラス張りでオープンな雰囲気。地下1階に10数名入れる研修室がある



►OTC(右)と
処方せん調剤
(下)それぞれ専
用のカウンター。
◆売り場は明るく清
潔感がある



ハート薬局 (ストックホルム)

▲明るく入りやすい入口



►カウンセリングルームはガ
ラス張り+カーテンでプライ
バシーに配慮

▲店内の装飾はモダン。ベンチが並ぶ待ち合いコー
ナーでは、無料の携帯充電やコーヒーのサービスも

in オーストリア

Austria

歴史的な街並みにグリーンクロスの看板が溶け込んでいました。100年前からその土地にあるという薬局もあり、伝統を感じます。

オーストリアの薬局事情は日本とよく似ています。現在「eカード」と呼ばれるカードで、すべての治療データを一元管理するシステムを構築中。また薬剤師のサービスや存在価値、地位の向上へ努力する姿勢が感じ取れました。今後オーストリアで薬剤師の存在がどのように変化していくか注目したいところです。



▲歴史的町並みに映える
グリーンクロス看板。欧
州のスタンダードです



エンゲル薬局 (ウィーン)
▲オーストリア最古の薬局で、ガイドブックに載るほど歴史的建造物。地
下2階、地上3階である



11月23日(日)～24日(月)

オーストラリア薬剤師会より 講師を招き、研修会を行いました。

薬剤師教育の先進国オーストラリアから毎年講師を招いて学ぶ研修会。4回目となる今回は、「認知症」をテーマに、在宅患者服薬支援のスキル向上と連携のためのワークショップを開催しました。全国各地から50名ほどの参加者が上田の地に集まり、熱い2日間を過ごしました。

●今回の概要

【テーマ】「認知症」の在宅患者服薬支援
【講 師】Lily Chong氏(オーストラリア薬剤師会コンサルタント薬剤師)

【内 容】

- ・認知症および認知症に使用する薬剤に関する情報を収集する
- ・認知機能を評価する方法を理解する
- ・認知症の行動心理症状の管理を理解する
- ・オーストラリアの実例を用い、認知症患者に対する在宅薬剤管理のスキルを高める



講師:Lily Chong 氏のプレゼンテーションを真剣に聞き入る参加者

●これまでの研修会

オーストラリアは、世界で最も先進的に薬剤師の生涯教育を行っている国ひとつです。2011年から毎年オーストラリアより講師を上田に招き、テーマごとに基調講演とワークショップを開催しています。

2011年度 「オーストラリアにおける最新の一般用医薬品の販売方法について」

2012年度 「HMR(在宅薬剤管理)について」

2013年度 「HMR(在宅薬剤管理)について」



ワークショップでは、参加者同士で議論が活発に行われました



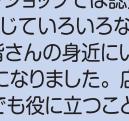
グループごとにまとめた見解を発表。より実践的な実例考察であつたため、リアルな意見交換になりました

参加者の声 薬剤師 小林 啓太さん



初めてこのワークショップに参加させていただき、とても良い経験になりました。特に、講演のあとに行われたグループディスカッションでは、一つの症例でも個人やグループごとにさまざまな意見があることに驚き、とても勉強になりました。今回学んだことを今後の薬剤師業務に活かして行きたいと思います。

参加者の声 薬剤師 宮島 早代さん



今回のワークショップでは認知症の症状や診断について学び、症例について検討する作業を通じていろいろな意見を聞くことができました。認知症が増えている中で、地域の皆さんの身近にいる私たち薬剤師がどのように関わっていくのか考えるきっかけになりました。店頭で患者さんのお話をよく聞いて、困っていることに対して少しでも役に立つことができるよう努力していきたいと思いました。

会員薬剤師は、これらの研修を通じて、上田小県地域の皆さんへの「薬剤師スキル向上」に取り組んでいます。

はい、お答えします！

Q. 正露丸はお腹の薬なのに歯の痛みにも効くそうですが、一般的に知られているものと違う効果のある薬があれば教えてください。
(上田市丸子 31歳男性)

A. 正露丸には「虫歯痛」という効能・効果があります。このようにあまり知られていない効能・効果のある薬があります。例えば、葛根湯は「かぜのひき始めの症状」に用いられるほか、「肩こり」、「筋肉痛」等にも用いられています。またキンカンは、「虫刺され・かゆみ」以外に「肩こり、腰痛、打撲、捻挫」にも効果があります。いずれも添付文書の効能・効果に記載があるものです。「薬の用法・用量・効果」については、かかりつけ薬局の薬剤師にお気軽にご相談ください。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛 先

〒386-0012

上田市中央6-3-41

週刊うえだ

「はい、お答えします！」係

weekly-ueda

@po3.ueda.ne.jp

FAX

0268-22-6201